

あとがき

編集顧問

越智隆弘
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
山室隆夫
矢部 裕

編集委員

糸満盛憲
荻野利彦
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
富田勝郎
戸山芳昭
吉川秀樹

編集同人

井形高明
生田義和
井樋栄二
岩田 久
岩本幸英
大井利夫
小野村敏信
加藤博之
金田清志
黒川高秀
腰野富久
紺野慎一
柿田喜三郎
酒 匂 崇
桜井 実

澤村誠志
杉岡洋一
田辺剛造
田畑四郎
玉置哲也
中村耕三
馬場久敏
浜西千秋
廣谷速人
佛淵孝夫
三笠元彦
三浦隆行
持田讓治
山田治基
吉川靖三

今年も自宅の庭では見ごろを迎えたアジサイの花が雨に濡れています。日本には四季の移り変わりもありますが、南北や高低差による差があります。6月28日に沖縄地方が梅雨明けしたとみられ、南国は夏本番目前です。別のニュースでは富士山の山梨県側登山道では6月に積雪があったため、最高2メートルにもなる残雪を山小屋関係者らが雪かきをして7月1日の山開きに備えています。今年の梅雨は雨が少なく、6月として最も高い気温を記録した都市もありましたが、今日のニュースでは梅雨前線の活発化で九州北部は29日夜から30日朝にかけて大雨が降り、高速道路が通行止めになるなど、市民生活に影響が出ています。土砂災害や川の氾濫などが起こらないよう祈っています。

2009年4月、厚生労働省の改訂「臨床研究に関する倫理指針」が施行され、日本においては人の身体・情報・試料を対象とした研究を行うためには、今後、この「臨床研究に関する倫理指針」と「疫学研究に関する倫理指針」をあわせて活用することが求められてきます。北里大学医学教育研究開発センター・医学原論研究部門の齋藤有紀子先生に「臨床研究・論文作成にあたっての倫理的配慮」と題して改訂臨床研究指針のポイントを確認しながら、研究者と研究責任者が臨床研究を倫理的に実施する際の留意点について解説していただきました。読者の皆さんには熟読されることをお勧めします。

荻野利彦先生が企画された誌上シンポジウム「創傷処置に関する最近の進歩」を早速読ませていただきましたが、われわれが研修医のときに見よう見真似で習った(?)包帯交換の方法と隔世の感を持ちました。緒言で荻野先生が記されているように、創が治癒するためには創面が湿潤であることが大切であり、創傷被覆剤の開発も大きく進歩しているようです。創面の乾燥や繰り返し使用する消毒薬は局所を傷害することもわかってきました。手術時の皮膚の縫合法、術後の創の管理、術後の創の離開後の対処法、難治性潰瘍や褥創に対する治療法の変化など、まさに目からうろこが落ちます。連載の「手術部位感染の基本」では「手術室の管理・空調」について小林美奈子先生が書かれています。

今回の内容も盛りだくさんで、読者の先生方には明日からの診療に役立つことは間違いありません。

(高岸憲二)

臨床整形外科 (第44巻第8号)

2009年8月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

[2009 年ぎめ予約購読料 29,400 円、
電子ジャーナル閲覧オプション付
38,300 円(配送料弊社負担)]

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2009, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。